

湖西大学校交換留学月例報告書（12月）

国際文化学科

大塚梨奈

1. テスト

韓国では2学期が12月で終わるため、月の前半にテストを行います。方法は主に日本と同様でレポート・発表・テストという形式で行われます。私がとっていた授業では発表とテストの形式でした。テスト勉強はこれまでの講義で使用されたパワーポイントのスライドが全て範囲になります。あたりまえですが、スライドや講義は全て韓国語なので理解するのに苦労しながら勉強をしました。しかし、私がとっていた講義の教授が日本の方なのでテストでは日本語での記述を許可されており、その面では他の講義より記述しやすかったかなと思います。

2. k-move

k-moveとは日本での就職を希望するゲーム工学科の生徒の日本語の授業です。交換留学で韓国に来た日本の生徒はこの授業に参加することになります。私達も週に1-2回一緒に授業を受けていました。半年ほど一緒に講義を受けた学生とは授業以外での交流もあり、仲良くなることができました。この学生は困ったときにいつも助けてくれるため非常に心強いです。韓国の学生達は日本での就職活動を始めており、韓国で会えるのは最後になりました。最後は全員でお別れ会を開きましたが、その後も連絡をとっており、日本に帰国してからも交流はつづくと思います。

来年は新たな学生との授業が始まります。その学生とは交流会として休みに入ってから交流会が行われました。まだ、人数は確定していませんが20人近くの学生が参加してくれて、一緒にボードゲームをした後、食事をしてカフェで会話を楽しみました。来学期も楽しみです。

2. 寮について

休みに入ると学期中に生活していた寮から引っ越しをしなければいけなくなります。そのため、休み中にも寮を使用する場合は新たに申請が必要になります。（すぐに日本に帰国する場合や休み期間中は日本で過ごすという場合は申請は必要ありません。）寮に滞在する日にちを詳細に伝え、食事の有無も決めることができます。2人部屋と4人部屋がありますが、学校の都合で今回は2人部屋の棟が使えないため日本人は全員4人部屋で申請をしました。1ヶ月以上寮に滞在する場合は20%の割引もあるため自分で部屋を探すよりもお得になると思います。学校が終了し休みに入ると約1週間後に部屋の引っ越しを行うことになります。荷物や布団をまとめて自分たちで運ぶことになります。

が、棟が離れていたり、荷物が多く大変な場合は国際化に頼めば手伝ってくれます。

